

新基地建設反対名護共同センターニュース

知事選 玉城デニー氏に出馬要請



「うりずんの会」事務局長も務める

玉城デニー衆院議員は、県選出国會議員でつくる「うりずんの会」(照屋寛徳会長)の事務局長も務めています。ゲート前で8月4日、記者会見を開き沖縄防衛局が求めている埋立承認の撤回手続きの延期について抗議する玉城デニー衆院議員(写真中央)。



玉城デニー氏のプロフィール
●本名・玉城康裕。959年うるま市生まれ、58歳。県立前原高校卒業、上智社会福祉専門学校卒業。ラジオパーソナリティー、沖縄市議1期、衆院議員4期。自由党幹事長。家族||妻、母、2男2女。

9月30日投開票の県知事選へ向けて県政与党は19日、翁長知事が生前、後継として名前を挙げた玉城デニー衆院議員を擁立する方針を固め、同氏に出馬を要請しました。玉城氏は、「重く受け止める。条件が整えば立候補に踏み切る」と、出馬の意向を示しました。同じく後継指名を受けた金秀グループの呉屋守将氏は出馬を堅く固辞し、玉城氏支持を表明しました。玉城氏は、これまで一貫して新基地建設反対を貫いてきており、知名度もあることから翁長知事の後継候補として期待が広がっています。

一貫して辺野古新基地反対貫く
玉城氏 要請を「重く受け止める」



「争点隠し」が狙い 工事がストップ

キャンプ・シュワブのゲート前でも辺野古海上の護岸の現場でも現在、土砂の搬入も海上での工事もストップしています。ヘリ基地反対協の安次富浩共同代表は17日、ゲート前で「防衛局は、工事中止は翁長知事の喪に服すためなどと言っているが、知事選への影響を考え争点を隠すことが狙いだ。我々は騙されない。候補者が誰になろうとオール沖縄候補を必ず勝利させ、命がけでたたかった翁長知事の遺志を継いで必ず新基地建設を止めよう！前哨戦の9月9日の市町村議会議員選挙でオール沖縄候補を全員勝利させよう」と訴えました(写真右奥)。

土砂投入は絶対に許さない！ 陸でも海上でも大規模な抗議集会



防衛局が当初通知していた土砂投入開始日の17日前後から、ゲート前でも海上でも大規模な抗議行動が展開されました。17日の海上行動では又々49艘、抗議船5隻で海上パレードを展開(写真左)、辺野古の浜で450人が抗議集会を開きました。18日は日本共産党の穀田恵二国対委員長など5人の衆院議員が抗議船に乗り込み抗議しました(右写真)。

